



日刊労千葉

労千葉結成10周年！

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

89.10.18 No. 3096

事業団闘争勝利、組織財政基盤の確立にむけて

職場集会、対話オルグはじまる

全支部で会社当局、JR総連に怒り集中

各支部は、第十六回定期大会の成功をふまえ、決定された方針を実現するため、職場集会や対話オルグを開始している。

各支部とも冬季物販オルグの突入、支部行事等が重なるという条件の中で、四苦八苦ししながらも、「一〇・二二三里塚、一・三団結祭」の成功を突破口にストライキを含む

あらゆる闘いで十二名の清算事業団の仲間をとり

もどすぞ」という決意をバネにして奮闘中である。

職場討議を深め、職場から総決起・総行動を

創り出し、全職場でのスト体制をしつかりと築きあげようではないか。

(何号かにわたり各支部の取り組みを紹介します)

新小岩 広域配転の策動に怒り集中！

支部は、大会後の十四日に、執行委員会を開催し、事業団闘争、「スト生活基金」、JR貨物当局との闘いなど、今秋季闘争の重大性について確認し、全組合員の团结を固めるためにオルグ、集会を精力的に実施することを決定した。今、職場の焦点は、貨物当局による広域配転策動に対し、全組合員が怒っていることである。

大会で決定された「広

もうガマンできない！
千葉支社の強制配転を許さない

各日、二回にわけて総オ

象者は非番者や勤務終了

子 諸君がものに—秋季闘争、JR総連解体にたつ

銚子 被解雇者、事業団の仲間の怒りを

組合員が自分の担当する

労組を分担、受け持つて

一丸となつて夏季販売や

「団体署名」活動をやり

きつてきた。この成果に

たつて秋季闘争を、事業

団闘争とJR総連解体・

一掃の闘いを一つのもの

として位置づけ、身をひ

きしめて総決起する決意

である。

四・一体制の最大の弱点—矛盾点は、JR当局が革マルと結託する以外に何一つ国鉄労働運動破壊をおしすすめることができなかつたところにある。そのJR総連が今、

決起してきた八九年全般にわたり、彼らがやつてきたことといえば、レクレーションと称して、当局と一緒になつてコソコソと飲み歩く、それ以外何一つやつてこなかつた。

一〇・二二三里塚—十

一・三団結祭を成功させ、

十一月～十二月のストラ

イキ貫徹にむけて、職場

討議—支部大会をかちと

りだしていく。

一一月～一二月のストラ

イキ貫徹にむけて、職場

討議—支部大会をかちと

りだしていく。

一〇・二二三里塚—十

一・三団結祭を成功させ、

十一月～十二月のストラ

イキ貫徹にむけて、職場

討議—支部大会をかちと

りだしていく。

一・三団結祭を成功させ、

十一月～十二月のストラ

この事実はかくしようがないのである。

われわれは、心底怒りを燃やし、革マルJR総連解体をおしすすめなければならぬ。二八名の仲間の首を切り、十二名の仲間を首切り収容所に送りこんだもう一方の当事者が革マルJR総連であることを見ればあまりにも歴然としている。われわれが打つて一丸となつて総決起をつく決起してきた八九年全般にわたり、彼らがやつてきたことといえば、レクレーションと称して、当

レーザーと称して、当

局と一緒になつてコソコ

ソと飲み歩く、それ以外何一つやつてこなかつた。

その者を除き、転勤を希望しない者を強制的に配

転するという目茶苦茶な

やり方に出てきた。全組

合員が怒るのは当然であ

り、抗議することは全く

正當である。

今後、徹底的に追及し

ていくことも確認した。

千葉転支部は、一〇・二

二三里塚をやりきり、十

月三〇日に支部定期大会

を圧倒的に成功させ、そ

の力で今秋季闘争を貫徹する決意である。

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年！